# 【第10回 持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会資料】

# 空港グランドハンドリング協会の活動について



2024年12月 一般社団法人 空港グランドハンドリング協会

### 本日のご説明内容



### 第2期事業計画の進捗について

- 1. 協会基盤の整備
- 2. 会員事業者における処遇改善の実施状況
- 3. グランドハンドリング業界の認知度向上活動
- 4. カスタマーハラスメント対策活動
- 5. 魅力ある業界づくりに向けた活動について

空ハン協HP



https://agha.jp/

空ハン協 X



# 第2期(FY24)事業計画(再掲)



#### 第2期活動方針

■「魅力ある業界の実現」に向け、経営基盤の改善を図りながら、第1期(FY23)にて重要視した3つの視点「採用競争力強化」、「離職抑制」、「省力化・省人化等による生産性向上」に基づいた活動を継続するとともに、専門委員会の設置など内部議論の充実を通じた、より具体的な課題実現に取り組む。

#### 第2期事業計画イメージ図

第1期の活動において重視した視点・アクション			第2期に発揮すべき役割(議論・提案)		
活動に重要な視点	第2期アクションプラン(抜粋)	4	事業計画推進に向けた新たな取り組み		
経営基盤の強化	・公正取引の実現 ・政策活動	NE	<ul><li>▶ 魅力ある業界像の設定</li><li>①各会議において魅力ある業界の定義につ  </li></ul>		
人手を増やす (雇用を増やす)	・採用競争力強化に向けた活動 ・グラハンの認知度向上 ・外国人活躍に向けた活動	NE	いて議論を実施     <b>ル 内部議論を通じた政策活動の充実</b>     ①専門委員会の設置		
人手を減らさない (離職を減らす)	・作業安全に関する活動 ・カスハラ対策推進 ・職場環境改善		(政策・業務効率・カスハラ対策) ②空港・地域別幹事会の開催 ③政策要請活動の拡充		
人手を減らす (省力化・省人化)	・業界ルールの見直し ・省力/省人化の推進		(政治・関係省庁・自治体・空港会社・関係業 界など) 		
会員拡大·産業内労使関係構築			各種調査の実施+協会基盤の整備 (法人化・会費徴収・事務所の設置)		

現

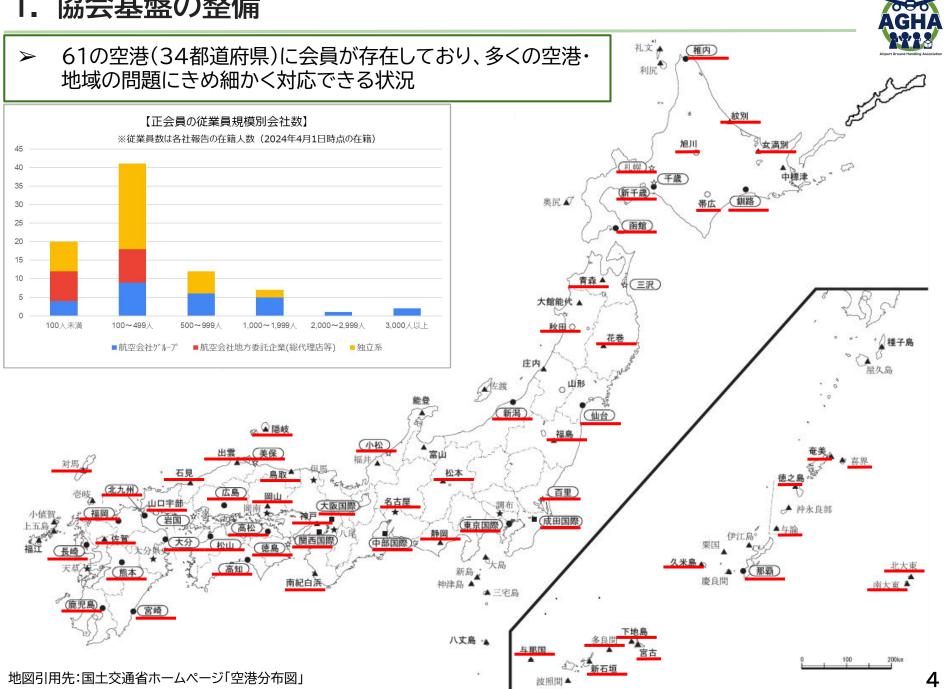
### 1. 協会基盤の整備



- > 2024年7月11日に一般社団法人格を取得し、協会の社会的信用を高めるとともに、改めて 会員事業者の共通利益の実現を目的とした団体であることを明確化。
- ➢ 法人化に伴い、会費の徴収・事務所の開設を行い、航空産業における独立した業界としての立場を確立。
- ➢ 会員数も設立時の2倍超の104社となり、全国61空港に空ハン協会会員が存在。引き続き、 グラハン事業者によるグラハン事業のための協会として、さらなる活動充実につなげていく。
- (1) 一般社団法人を取得し、名称を「一般社団法人 空港グランドハンドリング協会 」として登記 (英語名 Airport Ground Handling Association/AGHA)
  - ・空港での航空機地上支援業務(ランプ業務/航空貨物上屋業務/旅客サービス業務/運航支援業務等)を担うグランドハンドリング事業者等が加入。
- (2) 会員数が設立時の50社から104社となり、61空港(34都道府県)に空ハン協会員が存在
  - ・グラハン連絡会12社をベースに協会を設立し、12月1日時点で104社が入会。(参考①参照) 正会員従業員数合計 40,448名(2024年4月1日時点在籍数)

会員種別	資格	役割
正会員 (85社)	グランドハンドリング事業者	代表理事、執行理事、監事、事務局
特別会員(7社)	エアライン事業者等	執行理事、事務局
賛助会員(12社)	団体活動に賛同する事業者	団体における役割は担わない

# 協会基盤の整備

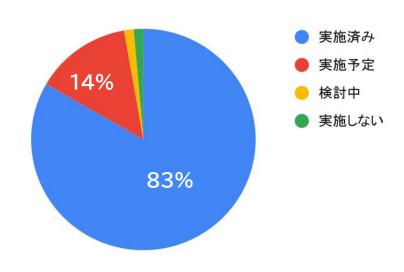


### 2. 会員事業者における処遇改善の実施状況



- ▶ 5月に実施したFY24処遇改善実施状況調査では、FY23年に続き、多くの会員事業者において処遇改善が図られており、業界として改善の裾野が広がりつつあることが確認できた。 (調査結果は空ハン協ホームページにて公開)
- ▶ 今後は、この処遇改善の結果を踏まえ、業界としてどのような労働条件になっているのかを確認するために、第三者機関に依頼する形で、グラハン業界の労働条件調査を実施し、他業種との差などを確認するとともに、会員事業者が適切に労務費の価格転嫁ができるよう後押しを行っていく。

#### 【参考】FY24 処遇改善実施状況調査結果(回答数72社)



改善内容	実施社数				
(23年度調査項目比)	23年10月	24年1月	24年5月		
ベースアップ	34社	52社	69社		
賃金制度改定(初任給改定等)	24社	34社	50社		
賞与の増額	14社	27社	19社		
諸手当	12社	18社	26社		
休日数(実施予定も含む)	10社	12社	31社		

# 3. グランドハンドリング業界の認知度向上活動



- 5月に空ハン協に加入した学校法人と連携を図り、学生の空港見学会や授業の実施、入学パ ンフレットに空ハン協との連携による職業教育などを記載し、認知度向上を図っている。
- 10月20日に、新千歳空港の会員7社連携のもと、北海道エアポートと共催にて地元高校生と 保護者の方を対象とした空港見学会を開催。60名の方が参加し、好評をいただくとともに、 メディア数社にも取材をいただいた。





埼玉学園大・川口短大の空港見学会と空ハン協授業の風景







旅客グランドスタッフ・ ランプハンドリングスタッフ等、 航空業界・空港内で働く

空港グランドハンドリング協会」と連携しました!

多様な業務を目指すことができます。





### 4. カスタマーハラスメント対策活動



- ▶ 協会独自の「カスタマーハラスメントガイドライン」の作成に着手するため、専門的な知見に基づくアドバイスを得るべく日本カスタマーハラスメント対応協会との連携を開始。また会員事業者より有志メンバーを募り、ガイドライン作成専門委員会を設置して具体的な作業に着手。
- ➢ 会員事業者の従業員を対象とした「カスタマーハラスメント実態調査」を6~7月に実施。 14,714件の回答データから、空港現場で発生しているカスタマーハラスメントの実態と傾向 を分析し、12月に調査結果報告書を内外へ公表。分析データを活用し、ガイドライン完成に向 け継続して取り組む。
- ▶ 関係業界団体等と連携し、第1期から取り組んできた、空港における「カスタマーハラスメント 対策啓発ポスター」の掲示を促進。今後も連携して啓発活動を進めていく。







カスタマーハラスメントガイドライン作成委員会の様子

### 5. 魅力ある業界づくりに向けた活動について



- 訪日需要が増大するなか、引き続き成長が期待できる航空・観光産業において、成長を実現 していく当事者として、グラハン業界がどうあるべきか、「魅力ある業界像の設定」に向けた 議論を開始。
- 定款で掲げた空ハン協設立の目的である、「グランドハンドリング業界の持続的発展および日 本経済の発展」に向け、2030年6000万人の訪日目標の達成などを見据えたビジョンと行 動指針を作成予定。
- 合わせて、魅力ある業界づくりに向けたアクションとして、①産業内労使懇談会の開催、②労 働条件調査、③女性活躍推進アクションプラン作成、④カスハラガイドラインの作成などにも 取り組んでいく。

#### 魅力ある業界像議論状況(イメージ図)

空ハン協 ミッション

#### ①空ハン協のミッション=空ハン協設立の目的(定款記載)

➢ 会員事業者が連携し業界共通課題の解決に取り組み、事業者の経営基盤の強化につな げ、空港グランドハンドリング業界の持続的発展および日本経済の発展に資することを 目的とする。

#### 空ハン協 ビジョン

#### ②空ハン協のビジョン=空ハン協が目指すべき業界像

➤ ミッションの実現に向け、会員事業者が共通的に目指すべき業界像(魅力ある業 界像)。中期目標として、達成度合いの把握が重要。

#### 空ハン協 バリュー

#### ③空ハン協のバリュー=空ハン協会員共通の価値観(行動指針)

➤ ビジョンの実現に向け、会員事業者が共通的に取り組む価値観。達成度合 いを図るためのKPIの設定を検討。

★ 観光立国の実現や物流を支える社会インフラの一翼を担うパートナーとして、安全を基盤に、従業員満足・航 空/空港を利用される顧客満足・企業成長に向け取り組んでいくことがイメージできる業界像を設定予定。

## (参考①)会員企業一覧(2024年12月1日時点) ※特別会員

	1	全日本空輸 ※
	2	ANAエアポートサービス
	ო	ANA成田エアポートサービス
	4	ANA新千歳空港
	5	ANA中部空港
A N I A	6	ANA関西空港
ANA グループ	7	ANA大阪空港
	8	ANA福岡空港
	9	ANA沖縄空港
	10	ANAエアサービス福島
	11	ANAエアサービス松山
	12	ANAエアサービス佐賀
	13	ANA Cargo
	14	日本航空 ※
	15	JALスカイ札幌
	16	JALスカイ仙台
	17	JALスカイ金沢
	18	JALスカイ
	19	JALスカイ大阪
	20	JALスカイ九州
JAL	21	JALグランドサービス札幌
グループ	22	JALグランドサービス
	23	JALグランドサービス大阪
	24	JALグランドサービス九州
	25	JALスカイエアポート沖縄
	26	JALカーゴサービス
	27	JALカーゴハンドリング
	28	JALカーゴ サービス九州
	29	日航関西エアカーゴ・システム
-		

		30	鴻池エアーホールディング ※				
1		31	コウノイケ・エアポートサービス				
		32	コウノイケ・スカイサポート				
1		33	Kスカイ				
1	鴻池グループ	34	Kグランドサービス				
1		35	Kグランドエキスパート				
1		36	日本空港サービス				
1		37	空港ターミナルサービス				
1		38	エアーエキスプレス				
1	スイスポート	39	スイスポートジャパン				
1	- 鈴与グループ	40	エスエーエス				
┨	m <del>ゴ</del> フルーフ	41	鈴与エアポートサービス				
1	谷上フカイ	42	鈴与スカイホールディングス ※				
	鈴与スカイ   ホールディングス	43	ドリームスカイ名古屋				
+	ハルバインノス	44	中部スカイサポート				
	関西エアポート グループ	45	CKTS				
4		46	羽田タートルサービス				
4		47	北海道空港				
4	IACTグループ	48	国際空港上屋				
4	IACIONED	49	スカイポートサービス				
	日本空港ビルデング グループ	50	ジャパン・エアポート・グランドハンドリング				
$\downarrow$	TSUCHIYAグループ	51	JAPAN AVIATION SERVICE ※				
4		52	ワールドエンタプライズ				
1	ヒト・コミュニケーション ズグループ	53	FMG				

#### (参考①)会員企業一覧(2024年12月1日時点) ※特別会員

ヒラノ・スカイ・サポート

82

	54	シンプティア			83	大分航空ターミナル	
	55	スカイカーゴビジネス	九州産業交通		84	 九州産交ツーリズム	
西鉄グループ	56	西鉄エアサービス	ホールディングス				
	57	サンエアカーゴサービス	新潟交通グループ		85	新潟航空サービス	
	58	アサイ			86	紋別観光振興公社	
	59	高松商運	クロヒジグループ		87	トラジャルフレール	
	60	対馬空港ターミナルビル			88	AKSグランドハンドリング	
四国電力グループ	61	四国航空 ※	マルエーグループ		89	<b>  奄美航空</b>	
NXグループ	62	日本通運			90	福岡エアーカーゴターミナル	
	63	グラテック	徳島	新聞社グループ	91	徳島航空サービス	
	64	福岡ティー・エイ・エス			92	石見エアサービス	
	65	函館エアサービス			賛助会員		
大阪運輸倉庫グループ	66	OUS sanmi	1 第一実業				
三井物産グループ	67	東京国際エアカーゴターミナル	2 PERSOL Global Workforce			Vorkforce	
日ノ丸グループ	68	日ノ丸自動車	3 成田空港ビジネス				
南国交通グループ	69	南国交通	4 双日				
広電グループ	70	広電エアサポート	5 花岡車輌				
JTBグループ	71	中国ターミナルサービス	6 学校法人峯徳学園 埼玉学園大学・川口短期大学			奇玉学園大学・川口短期大学	
	72	スカイマーク ※	7 レンタルのニッケン				
	73	和光ビルサービス	8	いすゞ自動車			
	74	Bisouエアポートグランドサービス	9	全日空モーター	サー	ビス	
	75	エコーパートナーズ	10	三井物産エアロ	スペ-	ース	
ACSグループ	76	エアーポートカーゴサービス	11	関東テック協同	組合		
	77	ショウトク	12	コーレンス			
一畑グループ	78	一畑トラベルサービス	- 正会員 : 85社				
両備グループ	79	両備ホールディングス					
とさでん交通グループ	80	とさでん交通					
	81	空港協力事業	計	: 104社			
		1 / - / 11.10			•	10	

10